

特集

# 移住

— 私たちが村上市を選んだ理由<sup>わけ</sup> —

「村上市に暮らす」その魅力とは何でしょうか。

「自然が豊か」「人情味がある」「食べ物おいしい」などのキーワードが頭に浮かびます。

しかし、同じような魅力を持つ自治体は、全国的にも多く、この魅力は同化し、差別化しにくくなっています。この地に生まれ育った人の中には、ここに暮らすことを特に意識せずに生活している人も多いのかもしれない。

市内には、数ある自治体の中から村上市を選択し、移り住んできた人たちがいます。

その人たちは、なぜこの地を選んだのでしょうか。その人たちには、このまちがどのよう見えているのでしょうか。

今回の特集では、移住者の皆さんの声を紹介し、「村上市に暮らす」魅力をお伝えします。

# 集落はひとつの家族。



富山県氷見市  
▼  
村上市山熊田

---

おおたき  
**大滝ジュンコさん**

職業：地域デザイナー  
(元地域おこし協力隊)  
年齢：40歳代  
世帯構成：本人、夫、  
義父、義母、犬  
移住年月：平成27年3月

初めて訪れた時から山熊田に夢中になったという大滝さん。豊かな自然はもちろん、温かい集落の雰囲気にも惹かれたと言います。

**山熊田との出会いはまさに「一目惚れ、何度も通い、移住を決断する」とい。**  
**集落の特性や気質は十人十色、好きな場所なら嫌なことにも気にならない。**

私の場合は、移住そのものがしたかった訳ではなく、この土地に魅せられてしまっ、どうしても暮らしたくなり山熊田へやって来たのです。それは一目惚れのような気持ちだったのかもしれない。初めて訪れてから実際に移住するまでの間に、車で片道6時間の道のりを何度も通い続けるほど夢中でした。

ここには、今もなお営まれていた昔ながらのマガギ文化があり、日常的に希少な野生の動物が見られる山々や、夏でもひんやりと冷たく澄んだ川の流れてくる鳥たちの鳴き声さえも聴き分けられるようになりました。雄大な自然はもちろんです、何よりも私を惹き付けたのは、集落中がひとつの家族であるかのような人と人とのつながりです。

移住してからの数か月は、人と人の距離の近さに驚き、慣れるまでに時間がかかりましたが、プライベートに踏み込まれたような気がするの、実はお互いを知っておきたいという表れでもあります。やんわりとした見守り制度のようなもので、トラブルが起きればみんなが助けてくれるのです。

集落にはそれぞれに特性や気質があります。そういうものを事前に知った上で移住する場所を決めるのは大切だと思います。好きで決めた土地であれば多少の嫌な部分も許すことができるでしょう。実際に移住して、地元集落の人との関係が深まれば深まるほどに「こんなに楽しい生活は他にない」と気づくはず。



①伝統的工芸品「羽越しな布」のしな織りの見習いを始めました。  
②共有の山でわらび採り。山の恵みはみんなで平等に分けます。



# くつろげる家と出会う。

神奈川県鎌倉市

▼  
村上市大須戸

おがわのりお  
小川典男さん

職業：農業見習い  
年齢：60歳代  
世帯構成：本人  
移住年月：平成30年3月

都会に暮らす孫たちにふるさとを作ってあげたいと夢を語る小川さん。  
古民家をリフォームして、自分らしい暮らしを実現しています。

**水がきれい、地域の人もやさしい、  
夢を実現するにふさわしい場所。**

いつか農業をしながらゆったりと暮らしたいというのは以前から思っていました。移住について本格的に考え始めたのは2年くらい前からです。当初、山北支所に聞いて近辺でいい家がないか探していたのですが思うように見つからず、担当者の方から「村上市空き家バンク」の利用を勧められました。現在住んでいるこの家が「村上市空き家バンク」で紹介してもらった物件です。大須戸は水がきれいだし、何より村上市は生まれ育った豊菜にも近い。所有者のご厚意で畑を使わせてもらえるということが魅力的でした。以前暮らしていた場所では本格的に農業をやる十分な場所がなく諦めていたのです。

**豊かな自然と広々とした住まい、  
都会で暮らす孫たちの故郷を作りたい。**

この家はかなり年季が入っています。周囲に水田があるため風通しがよくて涼しく、とても気に入っています。古民家は安く買えるものの、修繕に結構な金額がかかります。この家の修繕には村上市の空き家バンク移住応援補助金を利用できたので助かりました。夏休みには孫たちが遊びに来てくれました。この家なら十分な広さがあるので、部屋の中で追いかけて遊ぶのも大丈夫。都会と違って大声を出しても近所迷惑になりません。これから本格的な冬を迎えます。スキー場が近いので、夏だけでなく冬休みにも孫に遊びに来てほしいと思っています。孫たちのふるさとづくりは、今後の目標の一つです。



①築50年以上経った古民家には昔の道具がたくさんあります。自在鉤もその一つ。  
②無耕起、無除草、無肥料、無農薬で育てたジャガイモ。自然のうま味が染み出ます。

## 本当の自分にかえる場所。



「自分にとって移住とは、『セルフターン』と語る古林さん。移住後を感じたライフスタイルの変化について話してくれました。



東京都三鷹市

▼  
村上市坂町

ふるばやしたくや  
古林拓也さん

職業：会社経営

年齢：30歳代

世帯構成：本人、妻、

子ども2人

移住年月：平成30年4月

東京都内で3年間模索期間を経て、地域に根ざしたビジネスで起業を目指す。

通勤ラッシュがない、一軒家で家賃3万円。地域が見守ってくれる子育て環境がある。

1 LDKのマンションで家賃は月14万円、庭もない無認可保育園で月8万円もの保育料を支払う。何のために働いているのかって疑問を持ちました。そのうち「東京を離れて、自分たちらしく生きたいね」って夫婦で話すようになっていました。そのような思いを抱いてからの3年間は、現状を変えるべくMBA（経営学修士）の取得や社会起業家の伴走など、がむしゃらに動きました。

村上へ来る直接のきっかけは叔母からの誘いでした。まちづくりに関心があり、空き家活用を模索していた叔母と互いに出資して会社を作り、地域の課題に向き合ってみようということになったのです。現在、こちらで採れる山菜などを世の中と繋げるビジネスのほか、体験型ゲストハウスの準備も同時に進めています。

移住して大きく変わったのは朝晩の通勤ラッシュがないということ。また自宅は一軒家の6LDKで家賃は月3万円ですので、子どもをのびのびと育てられるようになりました。地域の方々が見守っていてくれて、子どもをたくさん人間関係の中で育てられるのもありがたいと思っています。

自分にとっての移住は「セルフターン」という言葉に集約されます。自分らしい生き方、働き方、本来の自分らしい姿に返ってそれを見つけることが自分にとっての移住でした。もし今の状況を変えてみたいという方がいれば、一歩踏み出して、村上というフィールドで開けてくる世界がきっとあると思います。



①週末には都内で山菜や野菜を販売しています。

②荒川パーキングでの社会実験販売。

大学を卒業後、憧れていたマタギの世界へ。山熊田での毎日と、狩猟への想いを語ってもらいました。

## マタギとして生きる。

▼狩猟へのあこがれからこの地に。



### ねだちりゅうと 根立龍斗さん

職業：森林組合勤務  
年齢：20歳代  
世帯構成：本人  
移住年月：  
平成29年4月

新潟県上越市  
▼  
村上市山熊田

どうしてマタギになったのかよく聞かれるのですが、小学生の時に豚を育てて食べるという食育の授業があって、その時の体験がずっと自分の心の中にあっただのどと思います。「お店に行ってお金を払えば肉は手に入る、でも、その肉はどこから来たのか」。そんな思いが、いつしか狩猟に携わりたいという気持ちに変わっていききました。

マタギは役割を決めて集団で獲物を仕留めるといふ共同作業です。今は勢子（せこ）という声を出しながらクマを追い込む仕事をやらせてもらっています。近づきすぎると危険だし、離れすぎるとクマを誘導できない、声の出し方も難しい。狩りの度に地形などの条件が異なるので経験を重ねながら、マタギの仕事の覚えている最中です。

今は一軒家に住んでおり、全部で8部屋あるうちの2部屋を使っています。夏でも風が気持ち良くて、住み心地は最高です。大学時代の友達も何人が遊びに来ていますが、山熊田の自然の美しさに圧倒されています。自分と同じ世代の若い人があともっと活気付くと思うので、新たな仲間が欲しいです。

学生時代に何度も訪れていた高根で暮らすことになった増川さん。地域コミュニティの大切さを実感しています。

## 地域によりそう生活。

▼子どもたちとのふれあいを通して、地域との関わりを深めています。



### ますかわ はづき 増川葉月さん

職業：旅行会社勤務  
年齢：20歳代  
世帯構成：本人  
移住年月：  
平成29年4月

東京都練馬区  
▼  
村上市高根

大学を卒業して企業に就職したのですが、地域とそこに住む人たちの関わりがもつと密な場所で暮らしたいという気持ちが強くなり移住を決めました。その時、真っ先に頭に浮かんだのが大学時代に何度も訪れたことのある村上市の高根だったのです。

住んでみて感じたのは、旅行者と生活者の視点は大きく違うということです。学生時代は、一回限りその時だけ自分のやるべきことをやればよかったのですが、ここで暮らすようになったからには地域活動に継続的に関わるといふ責任感が生まれました。毎日一つ一つ、地域との信頼関係を積み重ねていくことが大切だと思っています。

いま私が行っている地域活動は、集落の中学生を対象にした勉強会や小学生と一緒に遊んだり、イベントを行ったりしています。

この夏、子どもカフェを子どもたちと企画したところ、夏休み最終日の開催にも関わらず親御さんから快くご了承をいただくことができました。誠意を見せれば地域の人もわかってくれるし、やがて協力してくれる。日々、高根の人たちとの絆が深まっていくのを感じています。

## 村上市の移住・定住に向けた支援の一部を紹介します



村上市への移住・定住のご相談をお待ちしています

自治振興課自治振興室  
船山主査

### —住宅支援—

#### 空き家バンク制度

市内の空き家の所有者から寄せられた、売りたい空き家物件情報を市ホームページで紹介しています。

☎ 自治振興課自治振興室(内線3311)

#### 空き家バンク移住応援補助金

空き家バンクに登録されている物件を購入した人に、物件にかかる改修費の一部を補助しています。

☎ 自治振興課自治振興室(内線3311)

#### 村上市産材利用住宅等建築奨励事業補助金

市内で生産された木材(スギ・ヒノキ)を使用して、市内に木造建造物を建築(新築・増築・改築)する人に補助金を交付しています。

☎ 農林水産課林業水産振興室(内線3522)

#### 歴史的風致形成建造物保存事業および建造物外観修景事業

歴史的風致維持向上計画の指定区域内で、歴史的建造物の修理や歴史的町並みに調和する建造物の修景をする経費の一部を補助しています。

☎ 都市計画課都市政策室(内線5321)

#### 景観形成助成金

景観計画で指定されている重要地区内で、一定の基準を満たした優良建築物などの外観を変更する経費の一部を助成しています。

☎ 都市計画課建築住宅室(内線5311)

### —就業支援—

#### 就農支援事業補助金

新たに仕事として農業を始めた人(5年以内)の所得を確保するために補助金を給付しています。

☎ 農林水産課農業振興室(内線3513)

#### 創業応援事業補助金

市内での創業時に必要な費用の支援をしています。

☎ 地域経済振興課経済振興室(内線3611)

#### 介護人材確保推進事業給付金

市外の介護事業所から市内の介護事業所に新たに就職する人に給付金を支給しています。

☎ 介護高齢課介護保険室(内線3410)

#### ●問い合わせ

自治振興課自治振興室  
☎ 53・2111 (内線3310)

今回紹介した移住者の皆さんは、村上市の「環境」や「人」に惹かれ、住み始めました。普段の暮らしにも魅力を感じ、「村上市に住む」ことを楽しんでいきます。私たちにこの地の暮らしの良さを再発見させてくれました。

私たちは、これからも村上市が住み継がれる地域となっていくためにも、人と人のつながりや心の豊かさ、恵まれた自然環境など、この地の魅力を再認識していく必要があるのではないのでしょうか。